

北興化学工業株式会社

2022年11月期 第1四半期
決算補足説明資料

2022年4月11日

東証スタンダード 証券コード4992

I 2022年11月期 第1四半期決算 ハイライト

< 1. 連結業績 >

(単位：百万円)

▶ 前年同期比増収・増益決算

- ◆売上高は、13,377百万円となり前年同期比1,808百万円(15.6%)の増収となりました。
- ◆利益面では、営業利益は、1,864百万円となり前年同期比782百万円(72.3%)の増加、経常利益は、1,994百万円となり前年同期比759百万円(61.4%)の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,385百万円となり前年同期比527百万円(61.5%)の増加となりました。

	2021年度 第1四半期	2022年度 第1四半期	前年同期比	増減率
売上高	11,569	13,377	+1,808	+15.6%
売上原価	8,665	9,839	+1,174	+13.6%
売上総利益 (売上高比)	2,904 (25.1%)	3,538 (26.4%)	+634 (+1.3P)	+21.8%
販売費及び一般管理費	1,822	1,674	▲148	▲8.1%
営業利益 (売上高比)	1,081 (9.3%)	1,864 (13.9%)	+782 (4.6P)	+72.3%
営業外収支	154	131	▲24	▲15.3%
経常利益 (売上高比)	1,236 (10.7%)	1,994 (14.9%)	+759 (4.2P)	+61.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (売上高比)	858 (7.4%)	1,385 (10.4%)	+527 (2.9P)	+61.5%



< 1. 連結業績 ①概況 >

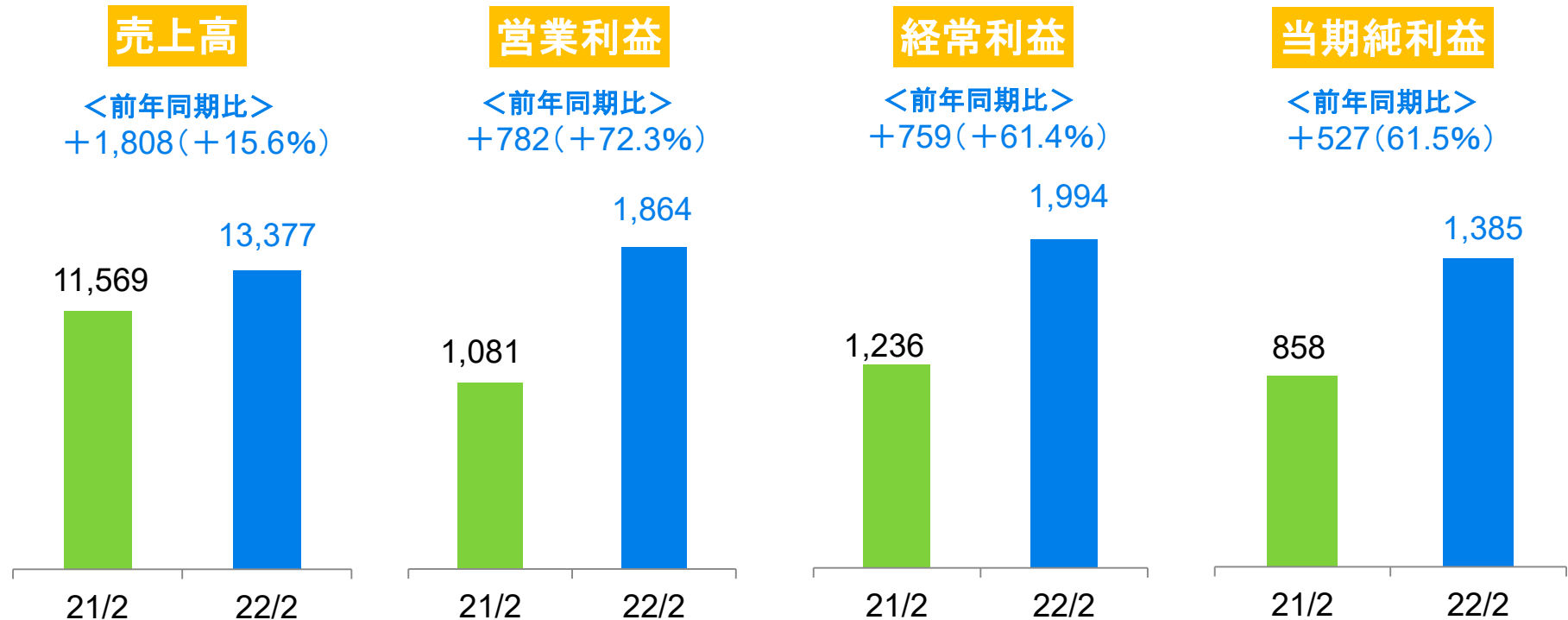
▶ 売上高

- ◆農薬事業は、国内販売における水稲用除草剤の受注増や製造受託における水稲用殺虫殺菌剤の受注増、海外販売におけるアジア向け受注の先行等により**増収**
- ◆ファインケミカル事業は、樹脂分野や電子材料分野の販売が順調に推移したことから**増収**
- ◆繊維資材事業は、ほぼ**前年同期並み**

▶ 営業利益・経常利益・当期純利益

売上高の増加に伴う経費増加や燃料価格上昇に伴う運賃等の経費増加が見られたものの、売上高の増加に加え、原材料価格上昇分の価格転嫁等に努め利益への影響を抑制し**増益**

(単位:百万円)



< 1. 連結業績 ②増減要因 >

①農薬事業 +1,099百万円

国内販売における水稲用除草剤の受注増や製造受託における水稲用殺虫殺菌剤の受注増、海外販売におけるアジア向け受注の先行等により増収

②ファインケミカル事業 +712百万円

樹脂分野や電子材料分野の販売が順調に推移したことから増収

③繊維資材事業 ▲2百万円

ほぼ前期並み

④その他 ▲1百万円

①農薬事業 +367百万円

売上高の増加に伴う経費増加や運賃等の経費は増加したものの、売上高の増加により増益

②ファインケミカル事業 +423百万円

農薬事業と同様に経費は増加したものの、売上高の増加に加え、原材料価格上昇分の価格転嫁等に努め利益への影響を抑制し増益

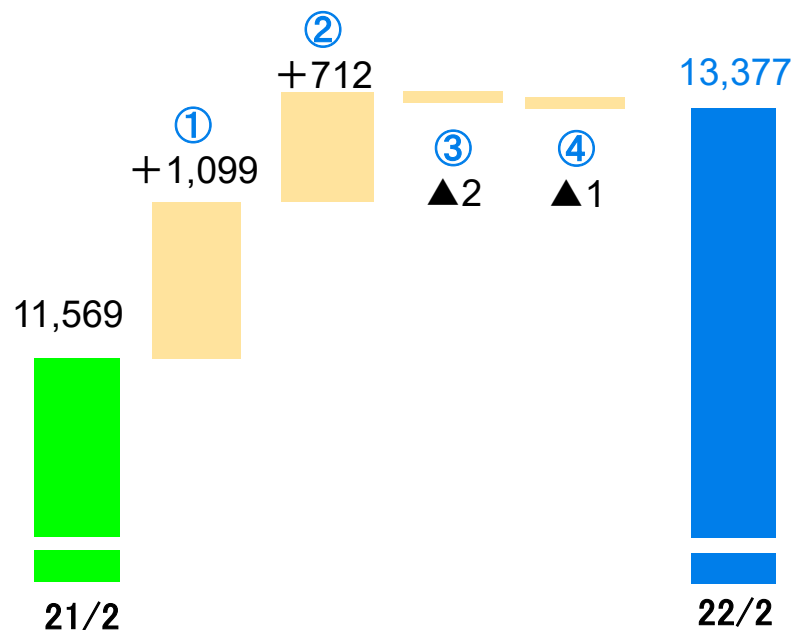
③繊維資材事業 ▲6百万円

新基幹システム稼働による償却負担等により減益

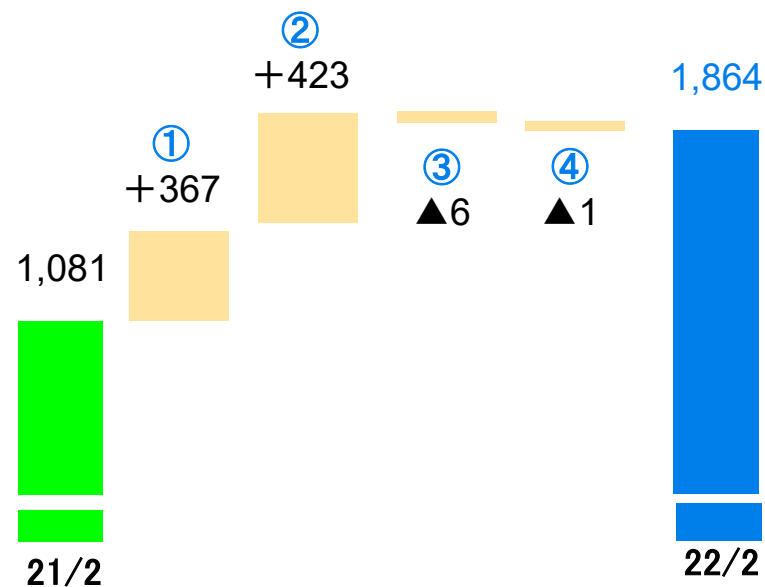
④その他 ▲1百万円

(単位:百万円)

売上高



営業利益



<2. 連結業績: 収益認識基準の影響 >

▶ 売上高で▲410百万円、営業利益で▲121百万円の影響

◆ 農薬事業

売上高は、主に販売促進費の売上高からの控除により▲172百万円の減少、但し販管費からの振替のため、営業利益には影響なし。

◆ ファインケミカル事業

売上高および営業利益は、主に輸出取引の出荷基準から着荷基準への変更により、売上高で▲238百万円、営業利益で▲121百万円の減少。なお、減少対象取引分は着荷後に売上高および営業利益に計上される。

(単位：百万円)

	2022年度 第1四半期 【旧基準】	影響額			2022年度 第1四半期 【新基準】
		農薬事業	ファインケミカル事業	計	
売上高	13,787	▲172	▲238	▲410	13,377
売上原価	9,895	+58	▲114	▲55	9,839
売上総利益	3,892	▲230	▲124	▲354	3,538
販売費及び 一般管理費	1,907	▲230	▲3	▲233	1,674
営業利益	1,985	—	▲121	▲121	1,864



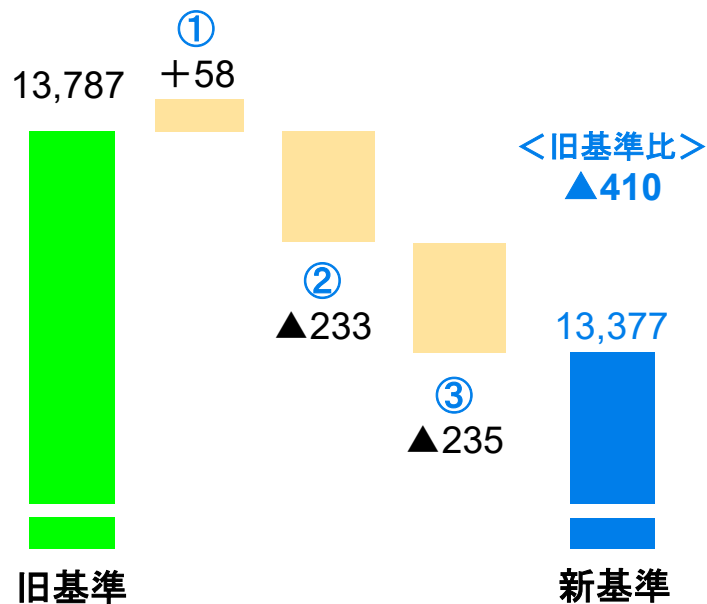
<2. 連結業績: 収益認識基準の影響 変動要因>

- ①返品権付きの販売に係る収益認識 +58百万円
 (一定の返品が見込まれる製商品の販売を売上高に加減)
 農薬事業 +58百万円
- ②変動対価に係る収益認識 ▲233百万円
 (販売促進費等を売上高から控除)
 農薬事業 ▲230百万円、ファインケミカル事業 ▲3百万円
- ③輸出取引に係る収益認識 ▲235百万円
 (輸出取引の出荷基準から着荷基準への変更)
 ファインケミカル事業 ▲235百万円

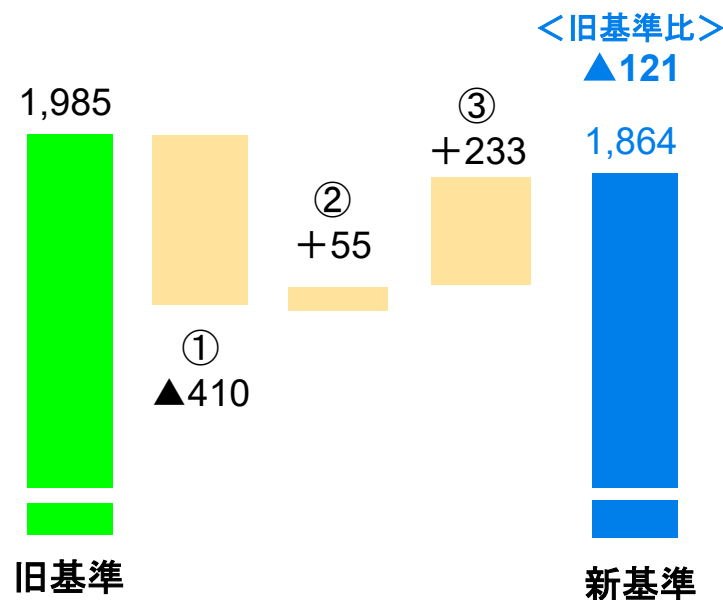
- ①売上高 ▲410百万円(左記図表のとおり)
- ②売上原価 ▲55百万円
 農薬事業 +58百万円(左記図表①に対応、営業利益影響なし)
 ファインケミカル事業 ▲114百万円(左記図表③に対応)
 ※営業利益影響 ▲235百万円 - ▲114百万円 = ▲121百万円
- ③販売費及び一般管理費 ▲233百万円
 農薬事業 ▲230百万円、ファインケミカル事業 ▲3百万円
 (左記図表②に対応、営業利益影響なし)

(単位:百万円)

売上高



営業利益

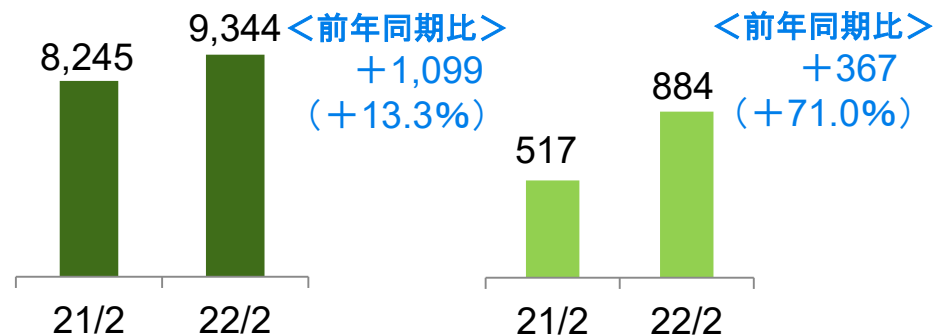


<3. 連結業績:セグメント別>

(単位:百万円)

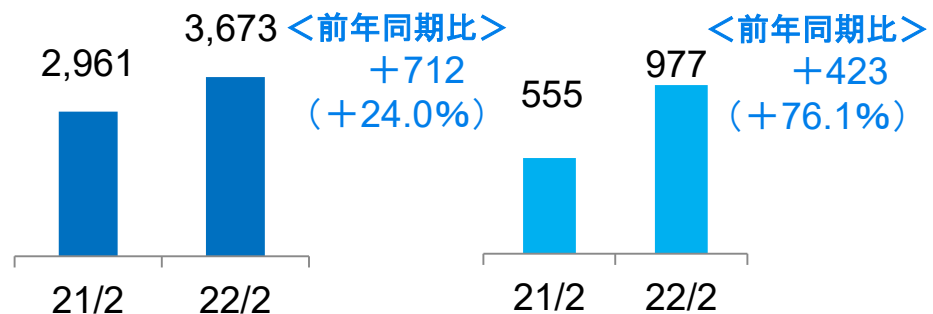
売上高

営業利益



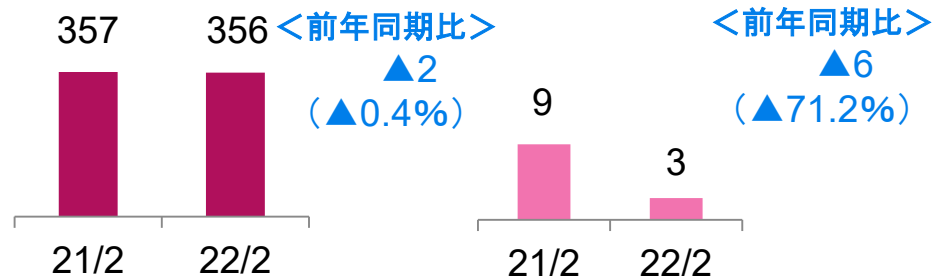
<農薬事業:対前年同期比>

- 売上高 : 国内販売における水稲用除草剤の受注増や製造受託における水稲用殺虫殺菌剤の受注増、海外販売におけるアジア向け受注の先行等により**増収**
- 営業利益: 売上高の増加に伴う経費増加や運賃等の経費は増加したものの、売上高の増加により**増益**



<ファインケミカル事業:対前年同期比>

- 売上高 : 樹脂分野や電子材料分野の販売が順調に推移したことから、**増収**
- 営業利益: 農薬事業と同様に経費は増加したものの、売上高の増加に加え、原材料価格上昇分の価格転嫁等に努め利益への影響を抑制したことにより**増益**



<繊維資材事業:対前年同期比>

- 売上高 : 海外からの一部資材の調達難があったものの、新たに開発した環境配慮型の再生ポリエステル素材の販売促進等により、ほぼ**前年同期並み**
- 営業利益: 新基幹システム稼働による償却負担等により **減益**



<3. 連結業績:セグメント別 ①農薬事業トピックス>

国内販売

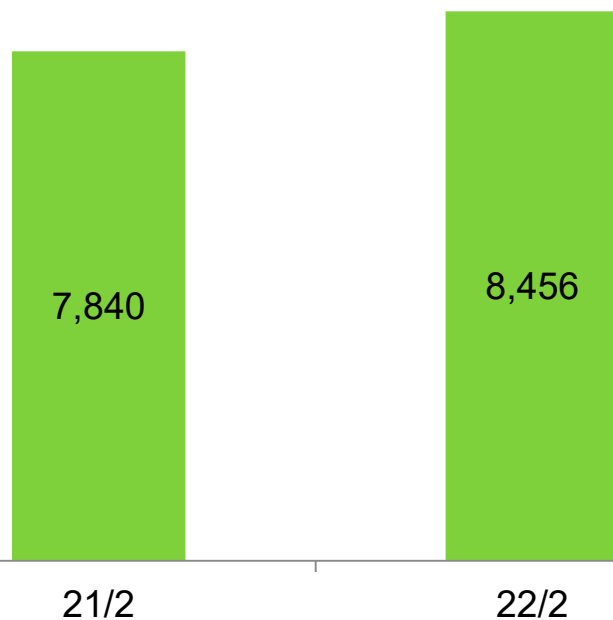
国内農薬販売における水稲用除草剤並びに製造受託における水稲用殺虫殺菌剤の受注増により**増収**

海外輸出

アジア向け(中国、韓国、インド、ベトナム等)受注の先行等により**増収**

国内販売(個別)

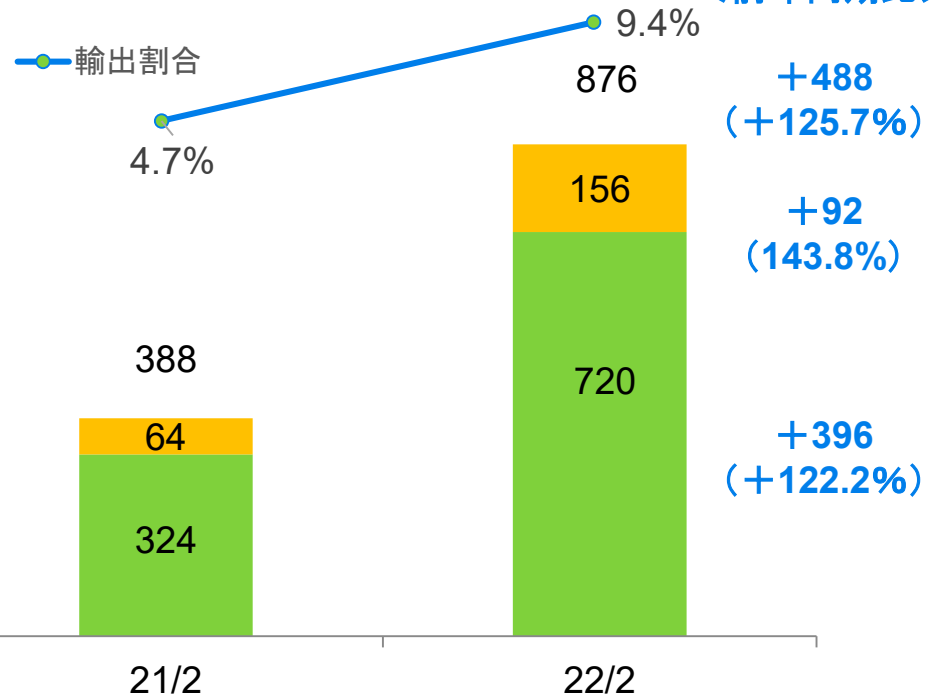
■ 国内販売



海外輸出(個別)

(単位:百万円)

■ アジア ■ その他

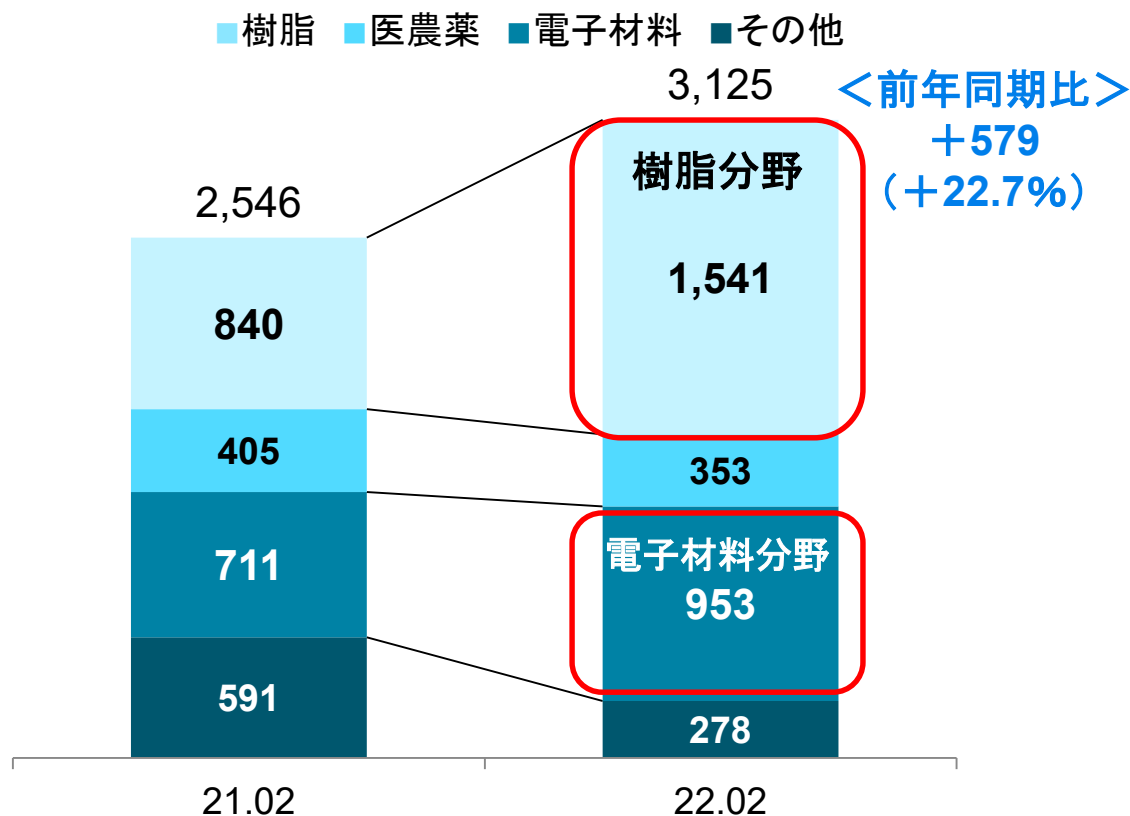


<3. 連結業績:セグメント別 ②ファインケミカル事業トピックス>

- 樹脂分野や電子材料分野の販売が順調に推移し、原材料価格上昇分の価格への転嫁等に努め利益への影響を抑制したことから、前年同期比で増収となり、かつ営業利益率も26.6%へ向上(前年同期比+7.9P)。

分野別(個別)

(単位:百万円)



<主な前年同期比増減内容>

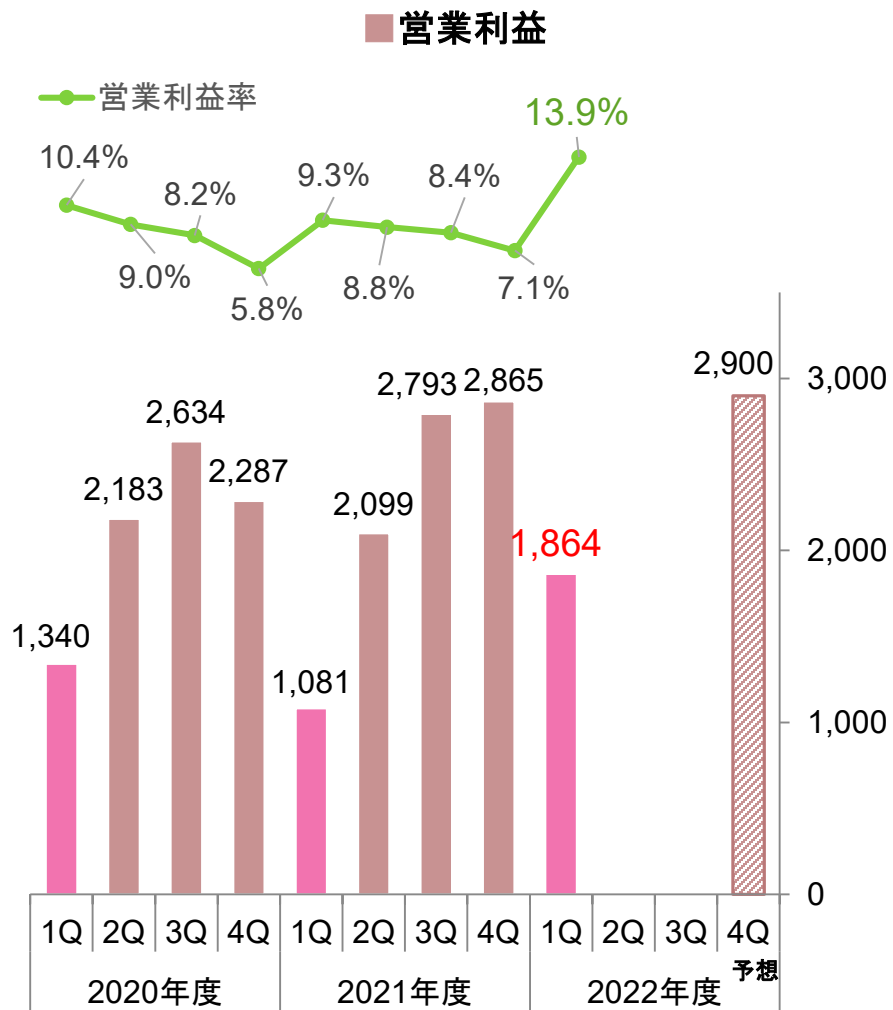
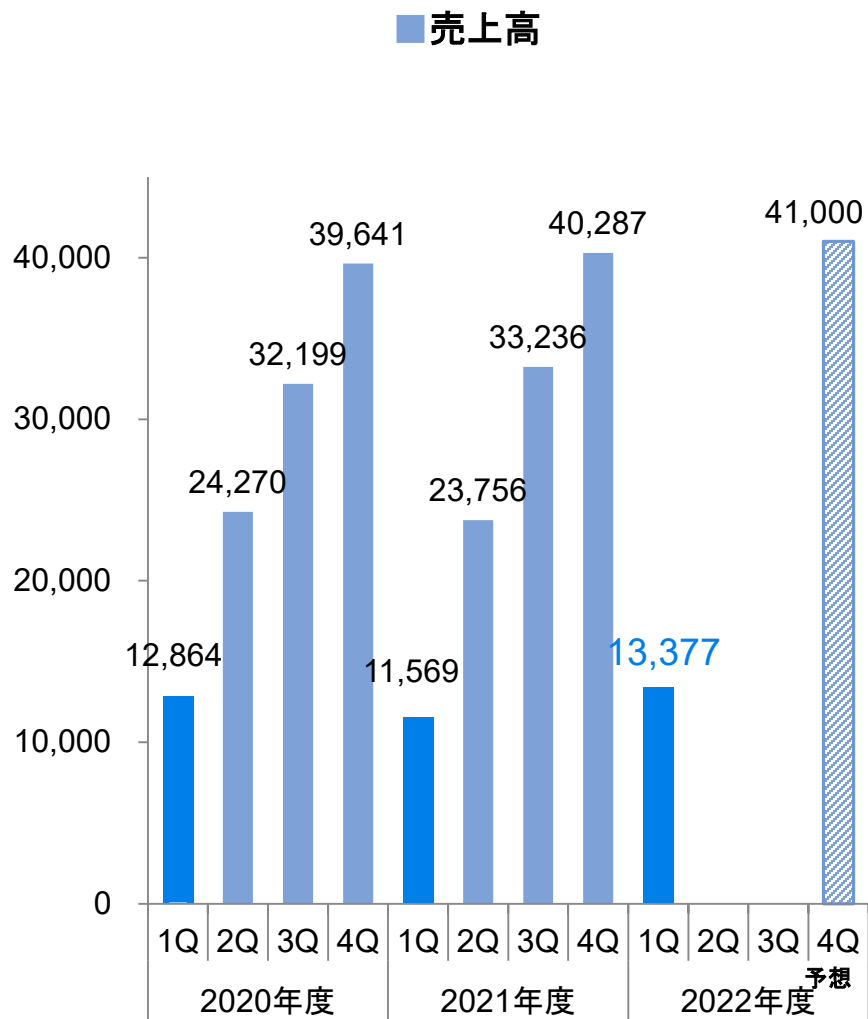
- ◆樹脂分野: +701百万円(+83.5%)
 - ・石化用触媒: +141
 - ・その他樹脂原料: +571
- ◆医農薬分野: ▲52百万円(▲12.8%)
 - ・医薬: ▲4
 - ・農薬: ▲48
- ◆電子材料分野: +243百万円(+34.2%)
 - ・半導体関係: +94
 - ・フォトレジスト: +134
- ◆その他: ▲313百万円(▲53.0%)
 - ・食品飼料: ▲198(収益認識基準の影響等)
 - ・防汚剤: ▲120

Ⅱ 【参考資料】

2022年11月期 第1四半期決算 データ編

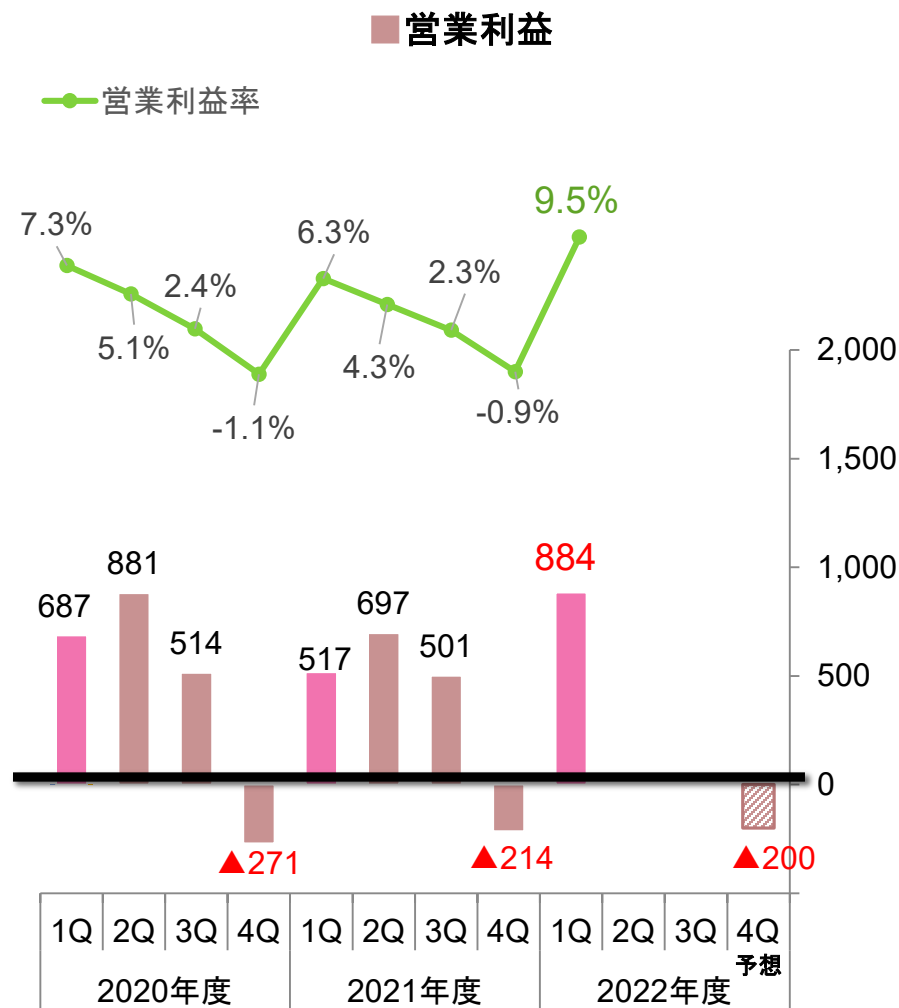
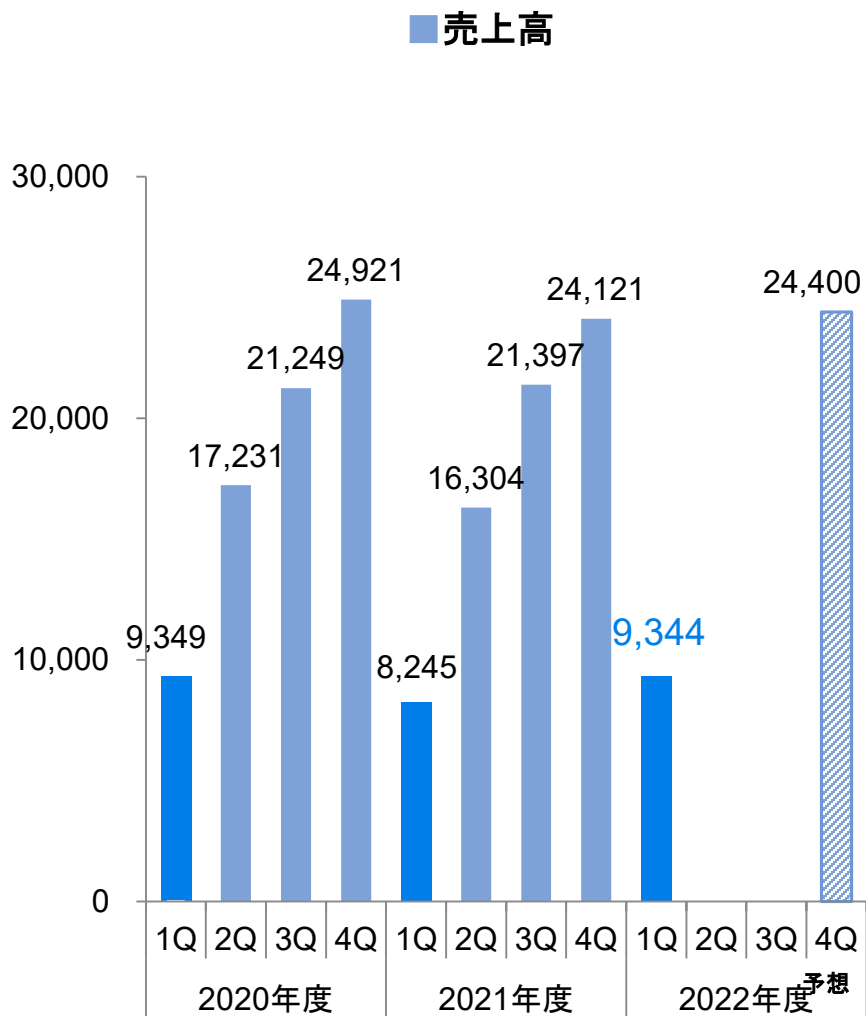
＜①連結業績の進捗状況＞

※金額は各四半期時点における累計値
(単位：百万円)



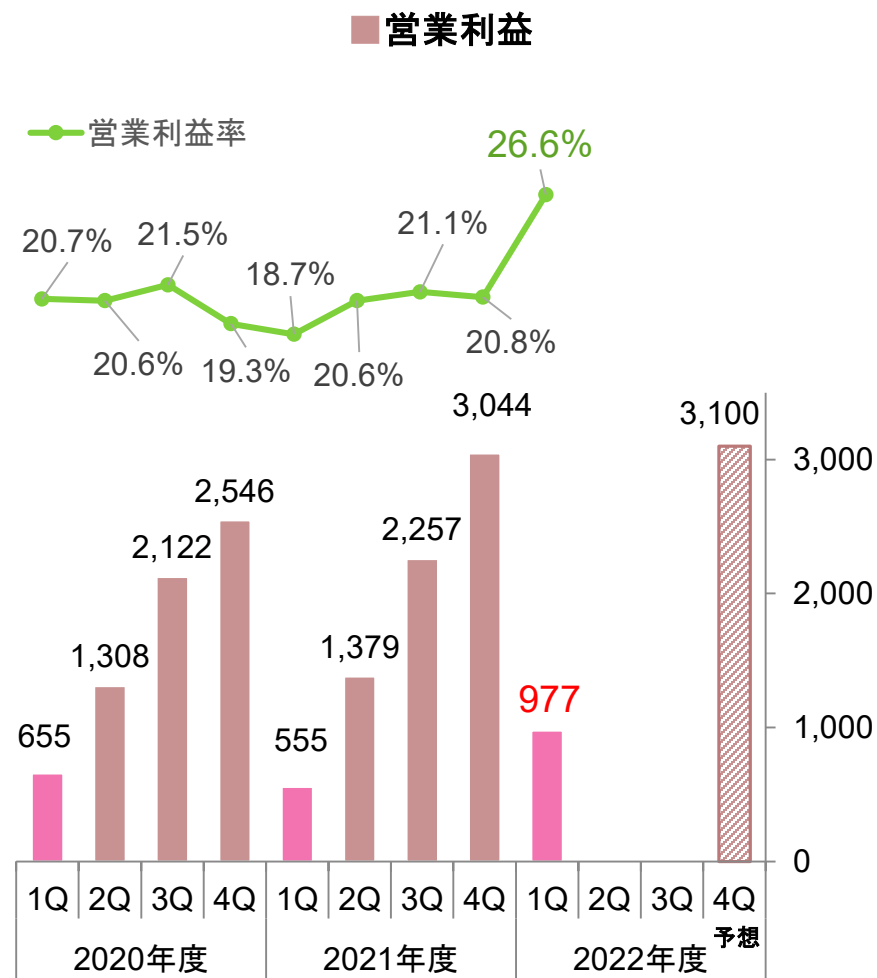
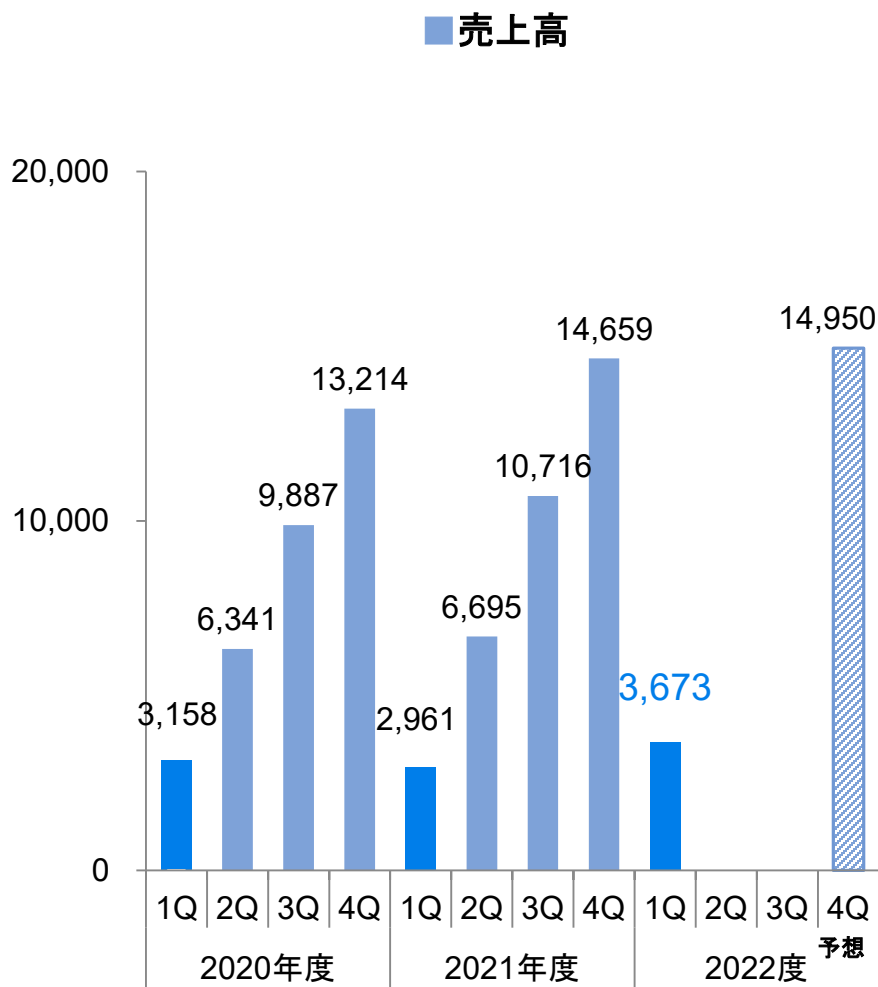
＜②連結セグメント別業績推移：農薬事業＞

※金額は各四半期時点における累計値
(単位：百万円)

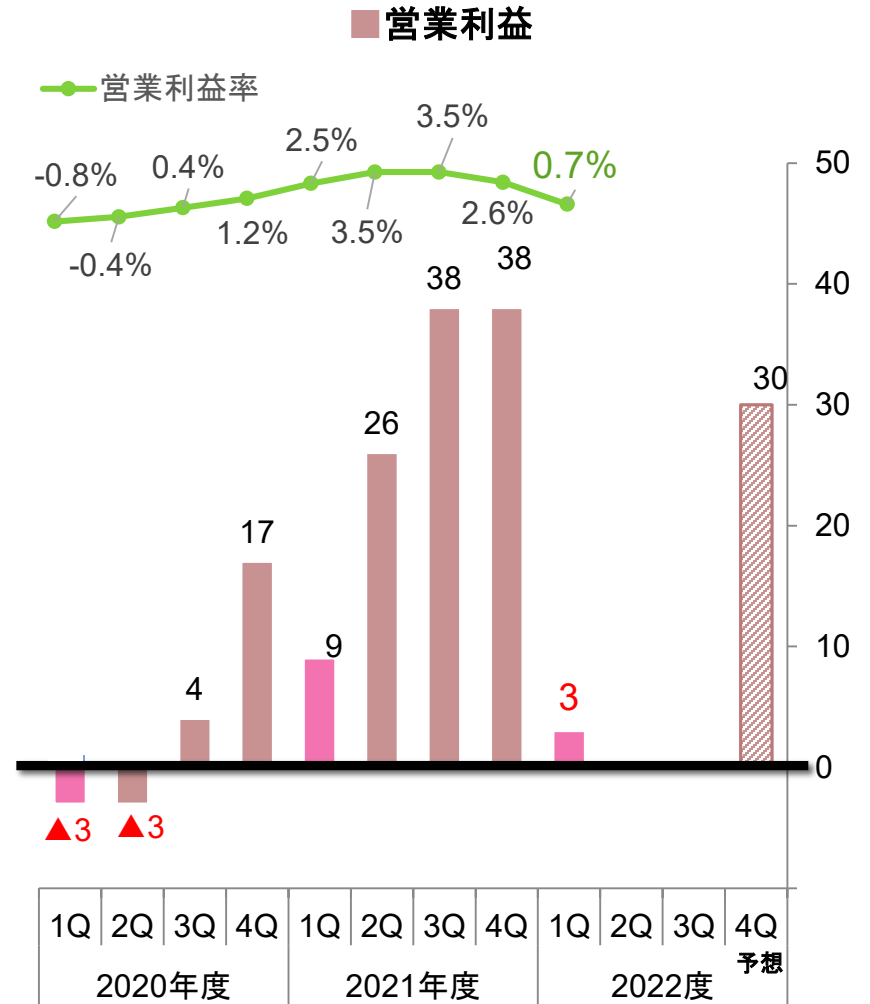
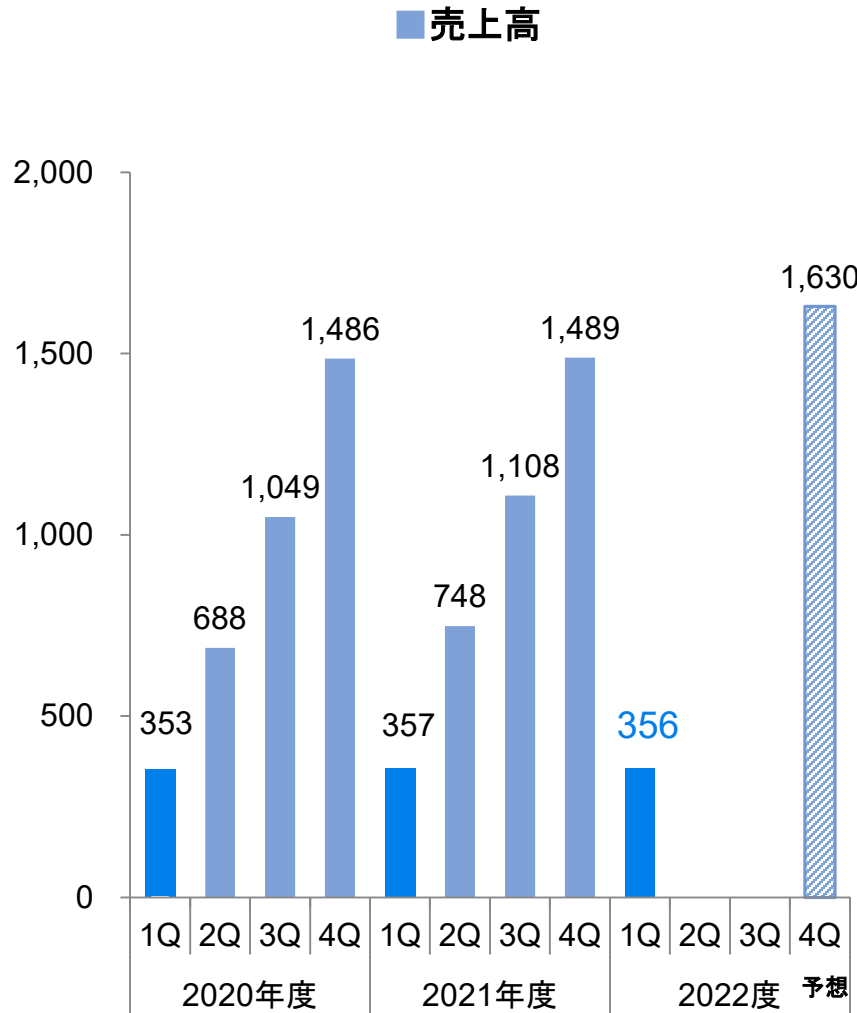


＜③連結セグメント別業績推移：ファインケミカル事業＞

※金額は各四半期時点における累計値
(単位：百万円)



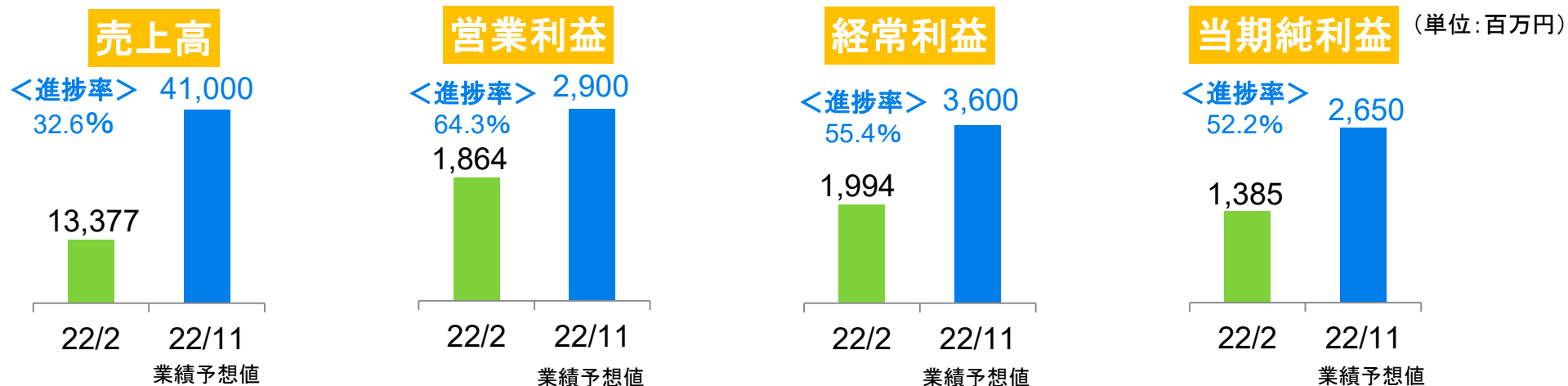
＜④連結セグメント別業績推移：繊維資材事業＞ ※金額は各四半期時点における累計値
 (単位：百万円)



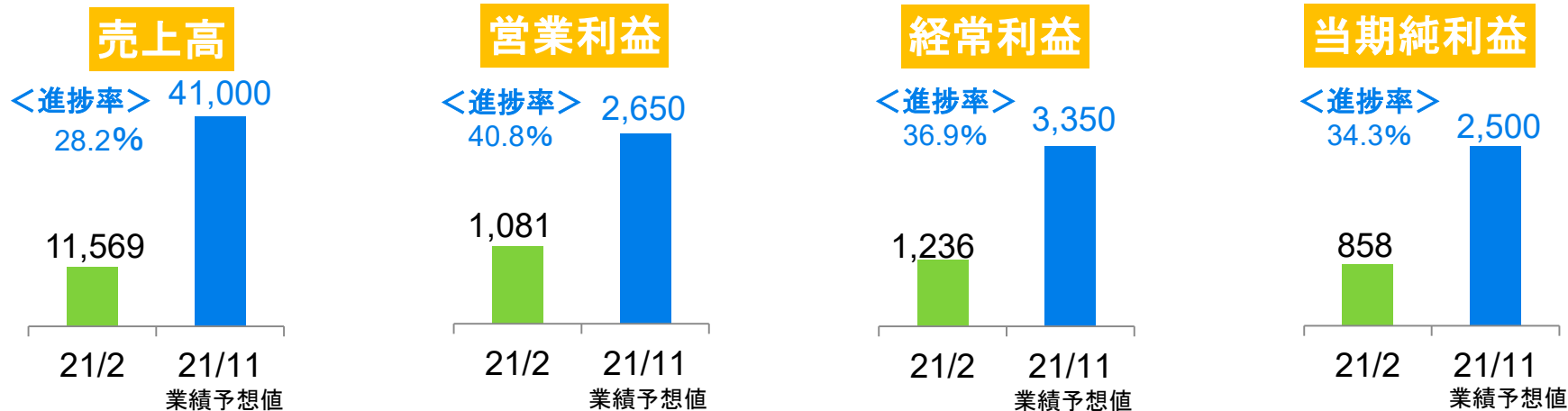
＜⑤連結業績予想対比の進捗状況＞

＜進捗状況＞

業績予想に対する第1四半期の進捗率は、売上高・各利益段階ともに、前年同期を上回る水準となった。



＜参考:2021年度＞



本資料に記載されている業績予想に関しましては、現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

■ お問い合わせ先

北興化学工業株式会社

企画部 IR担当

電話：03-3279-5151

FAX：03-3279-5195

